富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山湾産クサウオ科魚類

著者	南部 久男, 木戸 芳
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	13
ページ	107-111
発行年	1990-03-05
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=570

富山市科学文化センター研究報告第13号，pp.107-111 (1990)

富山湾産クサウオ科魚類*

南部　久男[1)]・木戸　芳[2)]

Fauna of Family Liparididae of Toyama Bay, the Japan Sea

Hisao Nambu and Kaoru Kido

A total of 90 liparidid specimens deposited at the Toyama Science Museum was examined. Six species were recorded in Toyama Bay, the Japan Sea. Two species, *Liparis ochotensis* and *Careproctus trachysoma*, were newly recorded in Toyama Bay.

富山湾の魚類相の報告には、菊池(1931)、片山(1940)、津田(1973)の富山湾産の魚類のリスト、加藤(1956)の富山湾を含む日本海産魚類の目録等がある。また、松原(1955)の日本産魚類の各種の分布から、富山湾の魚類相を把握することができる。しかしながら、これらの報告はいずれもリストのみで、調査した標本の所在が明かではなく、また、生息状況についてもほとんど述べられていない。近年、魚類の分類体系が見直されており、富山湾の魚類相についても再検討する時期にきたと考えられる。

今回、富山市科学文化センターに収蔵されている富山湾産魚類のうち、クサウオ科魚類について、種の同定を行った。その結果、富山湾に生息するクサウオ科魚類の概要が明らかとなったので報告する。

なお、赤瀬正則氏、護摩堂七郎氏、田中晋博士(富山大学)、津田武美氏、土井捷三郎氏(富山県水産試験場)、池原宏二博士(水産庁)、南卓志博士(北海道区水産研究所)、梨田一也博士(日本海区水産研究所)、縄井常松氏、和田勲氏並びに富山県水産試験場には、貴重な標本を寄贈いただき、西海漁業協同組合には標本収集に協力していただいた。また、津田武美氏には、標本のデータについてお教えいただいた。これらの方々に厚くお礼申しあげる。

富山湾で確認されたクサウオ科魚類

調査した標本は、富山市科学文化センターに収蔵されている富山湾産クサウオ科魚類75個体、富山湾をのぞく日本海産14個体、津田武美氏所蔵の富山湾産１個体を合わせた計90個体である。なお、富山湾は石川県珠洲市禄剛崎から東と富山県と新潟県の県境を北に伸ばした範囲とした(図１)。調査した標本の採集地点は、ほとんど富山県側の富山湾と思われる。なお、富山湾の最深部は、新潟県との県境付近から北方約30kmの水深約1320mである(海上保安庁水路部，1988)。

本研究によって富山湾には３属６種のクサウオ科魚類の生息が確認された(表１)。富山湾の浅海から200mを越す水深からはビクニンとクサウオが確認された。水深約200m以深からは、アバチャンとザラビクニンが確認された。イサゴビクニンは富山湾の調査個体が２個体で、富山湾における生息状況は不明であるが、能登半島外浦沖の日本海側でも、水

＊富山市科学文化センター研究業績第88号

1) 富山市科学文化センター　Toyama Science Museum
2) 石川県立水産高校　Ishikawa Prefectural Fisheries High School

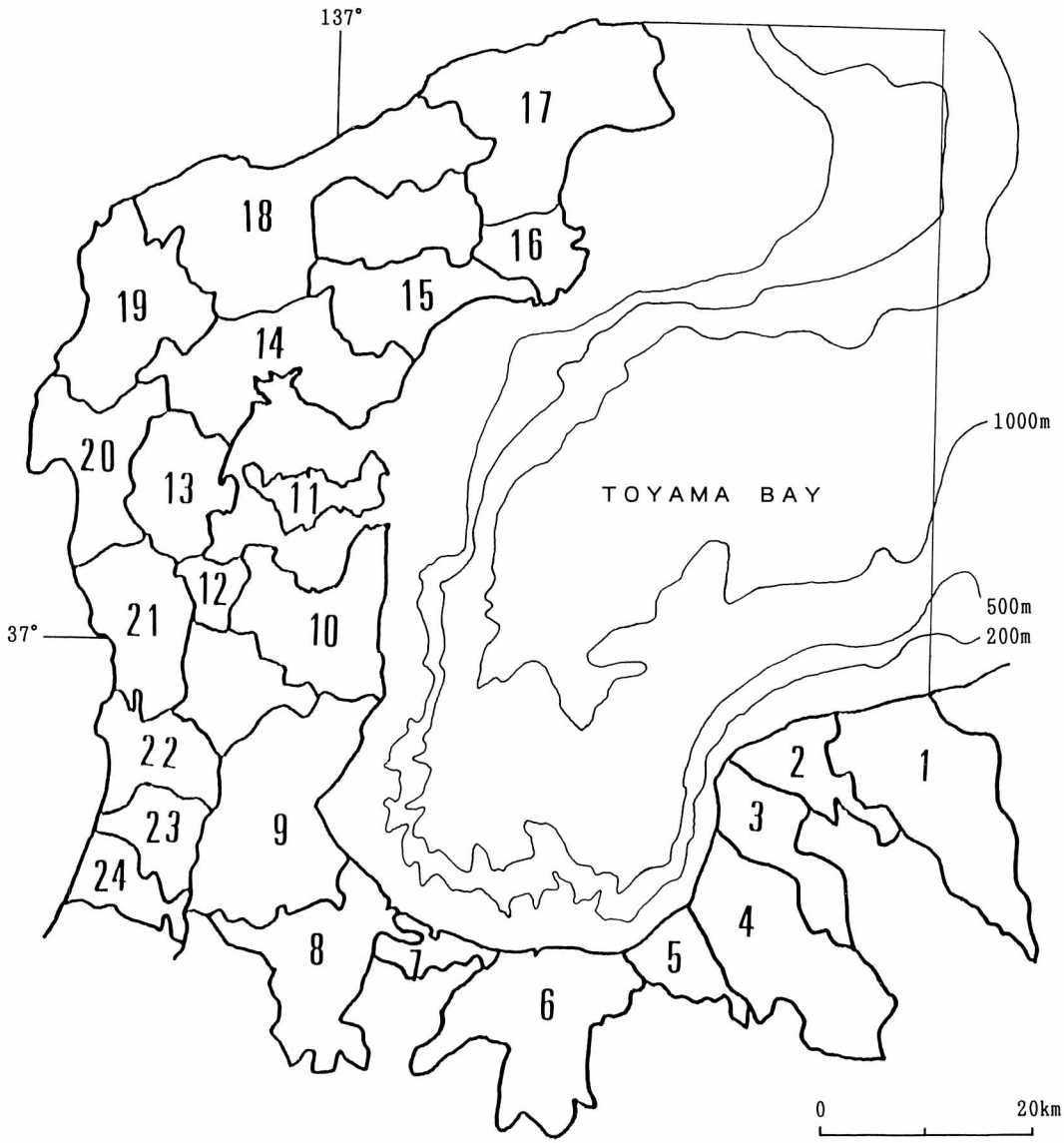


図1．富山湾（富山県及び石川県能登地方の海に面した市町村。1．朝日町　2．入善町　3．黒部市　4．魚津市　5．滑川市　6．富山市　7．新湊市　8．高岡市　9．氷見市　10．七尾市　11．能登島町　12．田鶴浜町　13．中島町　14．穴水町　15．能都町　16．内浦町　17．珠洲市　18．輪島市　19．門前町　20．富来町　21．志賀町　22．羽咋市　23．志雄町　24．押水町．1-9は富山県、10-24は石川県。）

深200m前後で、また、大和堆では水深350m前後で採集されていることより、富山湾を含む日本海での生息域は水深200-400m付近であると推察される。なお、イサゴビクニンの体長は、598㎜に達するが(Kido, 1988)、調査したイサゴビクニン2個体の内1個体は、固定前で全長920㎜、体長815㎜、体重約10kg(津田武美氏寄託標本、同氏測定)、他の1個体

表1　富山湾で確認されたクサウオ科魚類

魚　種　名	生息水深(m)[1)]
1．ビクニン　*Liparis tessellatus* (Gilbert et Burke)	5*～350
2．イサゴビクニン　*Liparis ochotensis* Schmidt	(200)～250～300～(390)
3．エゾクサウオ　*Liparis agassizii* Putnam	5*
4．クサウオ　*Liparis tanakai* (Gilbert et Burke)	5*～400
5．アバチャン　*Crystallichthys matsushimae* (Jordan et Snyder)	180 ～800
6．ザラビクニン　*Careproctus trachysoma* Gilbert et Burke	150 ～800

1)富山湾における生息深度の目安として、採集された標本の水深の最小、最大を示した。また、地引き網で採集された標本の水深の目安は5m(＊印)とした。(　)は、富山湾での水深の範囲を越した場合の日本海産の標本の採集水深を示す。

(TOYA-Pi-7044)は固定前で全長890㎜、体重8.8kg、固定後で全長860㎜、体長760㎜と巨大な個体であった(図2)。調査個体数から推測すると、200m以深では、ザラビクニンが優先していると思われる。エゾクサウオは1個体が浅海で確認されたが、調査個体が少なく、富山湾における生息状況は不明である。

富山湾のクサウオ科魚類については、エゾクサウオ、ビクニン、クサウオ、カラフトビクニン *Careproctus segaliensis* Gilbert et Burke、アバチャンの5種が報告されている(菊池，1931；片山，1940；松原，1955；加藤，1956；津田，1973)。また、津田(1973)は、これらに加えアオビクニン *Careproctus pellucidus* Gilbert et Burke を報告している。今回確認した種とは、エゾクサウオ、ビクニン、クサウオ、アバチャンの4種がこれらの報告と一致した。Kido(1988)によれば、アオビクニンは日本海に分布するサケビクニン *Careproctus rastrinus* Gilbert et Burke のシノニムであり、アオビクニンが津田(1974)により報告されていることより、サケビクニンが富山湾に生息する可能性は強い。カラフトビクニンはオホーツク海から完模式標本1個体が知られているにすぎない(Kido，1988)。

近年、木戸(1984)により、日本近海に生息するクサウオ科魚類が概説され、その後41種が詳細に記載されたが(Kido，1988)、そのうち、13種が日本海に生息している。今回確認した種の日本海における分布(木戸，1984；Kido，1988)は、エゾクサウオが富山湾以北、ビクニンは島根県以北、クサウオは長崎県以北(日本海より西では東シナ海にも分布する)、アバチャンは鳥取県以北である。ザラビクニン、イサゴビクニンは日本海に分布するが、富山湾からの報告はなく、今回初めて確認された。

なお、富山湾では記録はないが、日本海には上述の他に次の種が分布する(木戸，1984；Kido，1988)。ニセソコシロ *L. burkei* (Jordan et Thompson)(長崎県～島根県：日本海における分布を記す)、スナビクニン　*L. punctulatus* (Tanaka)(長崎県～青森県)、コクチクサウオ *L. miostomus* Matsubara et Iwai (北海道の日本海)、カンテンビクニン　*L. frenatus* (Gilbert et Burke)(佐渡～青森)、セキチクビクニン *Careproctus sinensis* Gilbert et Burke(佐渡)、アラスカビクニン　*Careproctus colletti* Gilbert(日本海)。

富山湾産クサウオ科魚類目録

目録中に出てくる種の配列、和名、学名は

Kido(1988)を参照した。データは次の順に記す。採集地点，採集年月日，個体数，登録№，採集者または寄贈者。富山湾産の標本の採集地名の所在県は全て富山県であり、県名は省略した。採集年月日は連続する8桁の数字で示す。19890101は1989年1月1日を示す。富山市科学文化センターの魚類標本の登録の分類区分は Toyama Science Museum—Pisces；(略号；TOYA—Pi)である。なお、目録中には、石川県外浦沖の日本海、日本海大和堆産クサウオ科魚類も含め、この場合は富山湾の次に記した。

カサゴ目　SCORPAENIFORMES

クサウオ科　Liparididae

ビクニン　*Liparis tessellatus* (Gilbert et Burke)

富山湾：富山市水橋漁港水揚げ，19840514，4個体，TOYA-Pi-6983～6986，南部久男；新湊市沖，19890317，10個体，TOYA-Pi-6987～6996，和田勲；富山湾，2個体，TOYA-Pi-6997・6998，津田武美；新湊市沖水深180～350m，19890110～0330，6個体，TOYA-Pi-6909～6913，和田勲・縄井常松；氷見市沖(地引き網)，19780324～0325，4個体，TOYA-Pi-6979～6982，池原宏二.

イサゴビクニン　*Liparis ochotensis* Schmidt

富山湾：富山市水橋沖3～4㎞水深約300m，19891203，1個体，TOYA-Pi-7044，護摩堂七郎；氷見市中波沖水深250m，津田武美氏寄託標本1個体，19871210，和田勲.

日本海：石川県富来町沖水深200～250m，19890226，4個体，TOYA-Pi-6974～6977，西海漁協；大和堆水深310～390m，19880925，1個体，TOYA-Pi-6978，南卓志・梨田一也.

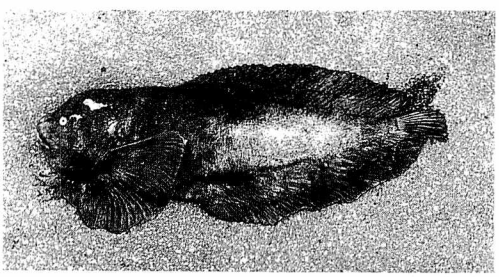


図2．富山湾産イサゴビクニン（TOYA-Pi-7044）

エゾクサウオ　*Liparis agassizii* Putnam

富山湾：氷見市沖(地引き網)，19780529，1個体，TOYA-Pi-6973，池原宏二.

クサウオ　*Liparis tanakai* (Gilbert et Burke)

富山湾：富山市水橋沖，19850118，1個体，TOYA-Pi-6915，護摩堂七郎；新湊市沖水深150～400m，19881010～1110，1個体，TOYA-Pi-6999，和田勲・縄井常松；新湊市沖水深150～400m，19890110～0330，1個体，TOYA-Pi-6914，和田勲・縄井常松；氷見市沖(地引き網)，19780324～0325，1個体，TOYA-Pi-7000，池原宏二.

アバチャン　*Crystallichthys matsushimae* (Jordan et Snyder)

富山湾：富山市水橋沖水深350～400m，19851120，1個体，TOYA-Pi-7041，護摩堂七郎；新湊市沖，19890317，1個体，TOYA-Pi-7038，和田勲；新湊市沖水深180～350m，19890110～0330，1個体，TOYA-Pi-7039，和田勲・縄井常松；新湊市沖水深300m，19890317，1個体，TOYA-Pi-7040，和田勲；新湊市沖水深150～400m，19881010-1110，2個体，TOYA-Pi-6916・6917，和田勲・縄井常松；富山湾水深800m，19750530，1個体，TOYA-Pi-7035，淡青丸.

日本海：石川県富来町沖水深200～250m，19890229，1個体，TOYA-Pi-7036，西海漁協.

ザラビクニン　*Careproctus trachysoma* Gilbert et Burke

富山湾：滑川市滑川漁港沖水深350m，19880325，2個体，TOYA-Pi-7020・7021，富山県水産試験場；富山市水橋漁港水揚げ水深150～400m，19850118，6個体，TOYA-Pi-7003～7008，護摩堂七郎；富山市岩瀬漁港水揚げ，19840112，7個体，TOYA-Pi-7013～7019，南部久男；富山市岩瀬沖（釣り）水深220m，19850414，1個体，TOYA-Pi-7024，明瀬正則；新湊市沖水深300m，19890317，6個体，TOYA-Pi-6903～6908，和田勲；新湊市沖水深150～400m，19881010～1110，2個体，TOYA-Pi-7001・7002，和田勲・縄井常松；新湊市沖水深300m，19890317，4個体，TOYA-Pi-7025～7028，和田勲；新湊市沖水深180～350m，19890110～0330，1個体，TOYA-Pi-7029，和田勲・縄井常松；富山湾水深450m，19850715，1個体，TOYA-Pi-7022，富山県水産試験場；富山湾水深　550m，19850717，1個体，TOYA-Pi-7023，富山県水産試験場；富山湾水深800m，19750530，5個体，TOYA-Pi-7030～7034，淡青丸．

日本海：石川県富来町沖水深200～250m，19890226，4個体，TOYA-Pi-7009～7012，西海漁協；大和堆水深404～440m，19870417，4個体，TOYA-Pi-6930～6933，南卓志・梨田一也．

参考文献

片山正夫，1940．富山湾産魚類目録．富山博物学会誌（3）：53-80．

海上保安庁水路部，1988．20万分の一、富山湾付近海底地形図．

木戸　芳，1984．クサウオ科．解説．日本産魚類大図鑑（益田　一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編）．東海大学出版会，東京．322-326．

Kido, K., 1988. Phylogeny of the family Liparididae, with the taxonomy of the species found around Japan. Mem. Fac. Fish., Hokkaido Univ., 35（2）：125-256.

菊池勘左衛門，1931．富山湾生物調査目録、第3回報告．富山県教育会編集．34 pp.

加藤源治，1956．日本海漁場における魚類相・付表日本海産魚類目録．日本海区水産研究所研究報告（4）：7-13，311-331．

松原喜代松，1955．魚類の形態と検索．石崎書店，東京，1605 pp，135 pls.

津田武美，1973．日本海の魚、目録・分布と考察．34 pp．謄写刷．